

# 第6編

## 教育

第1章 まちの未来を担う  
子どもたちの育成のために

第2章 生涯学習と人材開発を  
促進するために

# 第6編 教育

～学び 育ち 人かがやく～

## 重点的な取組

### ①「生きる力」を育む教育と地域ぐるみでの子ども育成

自ら学び自ら解決する力や社会の変化に柔軟に対応できる適応力といった子どもたちの「生きる力」を育み、「豊かな心やたくましさ」を育てる教育を推進するとともに、子どもの発達段階や興味・関心に応じた系統的で継続的な指導の支援及び地域ぐるみで子どもたちを守り育む環境整備のため、「上田市教育支援プラン<sup>1</sup>」に基づいた教育活動の実践に努めます。

### ②小中学校等の教育環境の整備

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害発生時には地域住民の避難場所にもなる重要な役割を担っています。安全で安心して学べる教育環境を整えるため、小中学校施設において、耐震化や老朽化した施設の計画的な改築、修繕を行います。

また、放課後や土曜日、夏休みなどを過ごす放課後児童施設においても、必要な施設整備を計画的に進めます。

### ③地域の教育力の醸成と生涯スポーツ社会の実現

社会教育機関である公民館や図書館を中心に、市全体が市民の参加と協働を基本とした生涯学習を推進することにより地域の教育力を高め、その成果をまちづくりや地域課題の解決に生かすとともに、地域・家庭・学校・行政が連携し、学校支援にも生かす取組を進めます。

また、上田市スポーツ振興計画に基づき、誰もがいつまでもスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現を目指し、市民ニーズに即したスポーツイベント等の開催や施設の充実と有効活用に努めます。

<sup>1</sup> 上田市教育支援プラン

将来を託す子どもたちの健全な成長を願って学校教育の分野で取り組むべき重点施策を掲げ、市長部局と教育委員会部局が連携して教育の充実を図るための具体的な支援策をまとめたもの

# 第1章 まちの未来を担う子どもたちの育成のために

## 第1節 まちの未来を担う子どもたちを育成する

### ■現状と課題

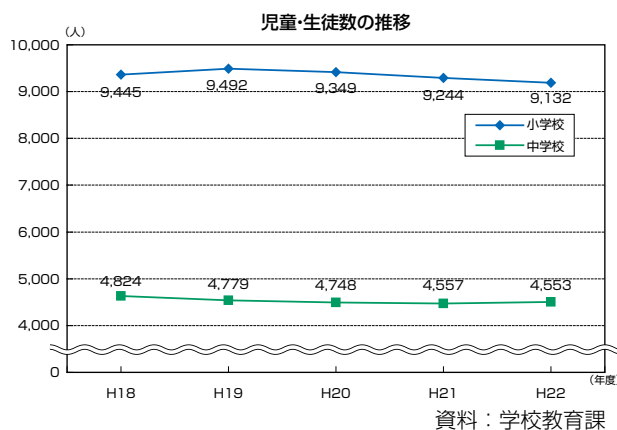
1 家庭や地域の教育力の低下や子ども自身の生きる力が育まれにくいことが指摘されています。切れ目のない子どもの成長を一貫して支えるため、幼・保・小・中の各機関における連携を一層推進するとともに、異年齢交流やさまざまな体験の機会を通じて、子どもの自主性や豊かな人間性を育んでいくことが重要です。



野外での活動

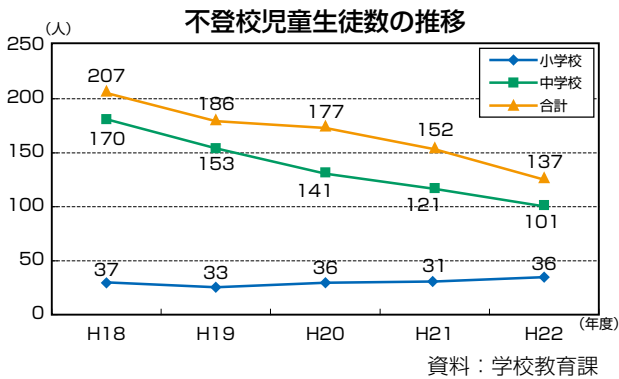
2 義務教育における教育課程は、小学校、中学校それぞれに定められており、指導内容の重複や隙間、一貫性や指導上の継続性における課題も指摘されています。子どもたちの発育段階や興味・関心に応じた指導体制への取組と工夫が必要です。

3 学校施設整備計画については、児童生徒の安全確保を最優先に、長期的な展望のもとに行う必要があります。また、児童生徒数は減少傾向にあります。義務教育では一定の集団において養育教育目標も重要ですので、適正規模による小中学校の運営に配慮する必要があります。



4 激変する現代社会において人の考え方・価値観も多様化しています。また、ゆとりを持って学習できる環境の整備が必要とされている一方で学力問題も取りざたされています。社会の変化に対応した幅広い教育を行うとともに、基礎・基本の学力を身につけるために魅力ある授業を実現する必要があります。

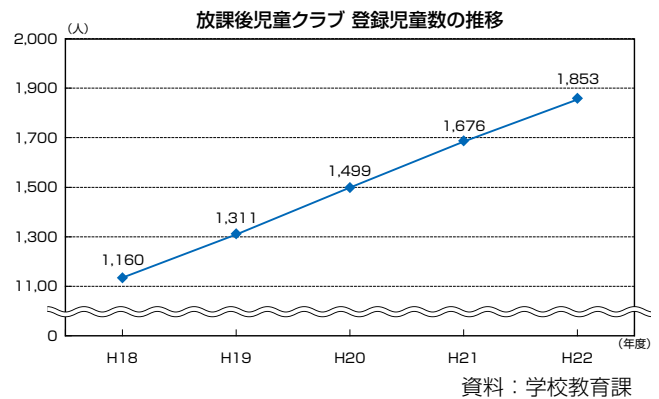
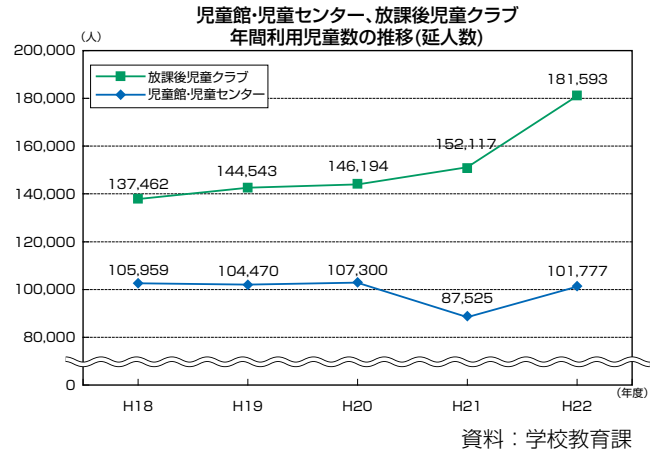
5 不登校やいじめの問題は、依然として大きな課題となっており、不登校やいじめで悩んでいる児童生徒の早期発見・早期対応に努め、児童生徒や保護者等が抱えるさまざまな悩みを解消するため、個々のケースに応じたきめ細やかな対応が必要です。特にいじめは、決して許されないことであり、いじめの兆候をいち早く把握して、迅速に対応する必要があります。



6 発達障害のある児童生徒や外国籍児童生徒が多く在籍しています。一人ひとりのニーズを把握して、学習や生活の面で適切な教育的支援を効果的に行う必要があります。

7 家庭や地域など子どもを取り巻く環境が大きく変化しています。地域の大人が子どもを育てる当事者としての意識を共有し、地域ぐるみの教育や子育て支援を推進していくことが必要です。

8 核家族化及び共働き家庭やひとり親家庭の増加等に伴い、放課後児童クラブ（児童クラブと学童保育所）の利用児童は年々増加し、保護者のニーズも毎日の利用から一時利用までのように多様化しています。放課後児童施設は地域の子育て拠点として運営の充実が求められるとともに、狭くなったり老朽化した放課後児童クラブの施設整備が必要になっています。



9 児童生徒の問題行動は学校だけでは解決が難しいものも多くあります。関係機関や地域が連携・協力して当事者である児童生徒や保護者をサポートしていく必要があります。



放課後児童クラブの活動

## ■基本的な考え方

- 1 心にゆとりを持てる教育環境を目指しながら、学校として特色ある教育活動を展開し、子どもたちが自ら学び自ら考え解決する力や、社会の変化に柔軟に対応できる適応力など「生きる力」と「豊かな心やたくましさ」を育む教育を推進します。
- 2 子どもたちが地域社会と触れ合う機会をすることで、地域を思う社会性のある子どもを育成する体制を築いていきます。
- 3 義務教育9年間で長期的な視点で捉え、子どもたちの発達段階や興味・関心に応じた継続的・系統的な学習指導や生徒指導が図れるよう取組を進めます。  
また、連続した子どもたちの発達を円滑に支えていくために、幼・保・小・中の連携を進めます。
- 4 学校施設の耐震化を進め、安全で安心な学校施設整備を推進するとともに、時代に対応できる人材育成のため、教育用設備の整備など教育環境の充実を図ります。
- 5 中長期の展望のもとに、地域の実情や特性を踏まえながら、学校の適正規模化と適正配置を検討します。
- 6 子どもたちの健全な「体」と「心」の育成のため、学校給食と健康教育の充実を図ります。
- 7 家庭、地域、学校が連携し、地域ぐるみで子どもたちを育てていきます。



小学校の授業風景



改築した武石小学校屋内運動場

## ■施策体系

節	施策
まちの未来を担う子どもたちを育成する	①子どもたちの豊かな心、生きる力の育成
	②小・中学校の教育環境整備
	③自発的に学ぶ意欲の育成
	④家庭や地域での子どもたちの育成

## ■施策の内容

### ①子どもたちの豊かな心、生きる力の育成

#### ●幼・保・小・中の連携の充実

○子どもたちが人と人とのつながりを大切に、社会を形成していく力を身につけるため幼児期における教育の充実を図ります。

○幼・保・小・中が相互理解を深め、情報交換や交流事業を積極的に取り入れた連携を推進し、発達段階における子どもたちの区切りのない成長を支援します。

○新時代を担う心豊かな人づくりに向けて策定した「かがやけ上田の未来っ子」を基本理念とし、地域社会全体が子どもを育てる共通認識を持ちながら、あいさつの励行など具体的な取組を進めます。

#### ●青少年地域活動の推進

○子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験などが減少している現状をふまえ、地域における子ども会育成会活動や分館活動等の支援を行い、子どもたちに豊富な体験の機会を与えることで、生きる力を高め、実社会や地域への興味、関心が広がるような取組を進めます。



地域青少年育成指導者養成講座

○さまざまな世代や地域の人々との交流を通して、子どもたちの豊かな心を育て、リーダーの育成につなげるとともに、地域の指導者の養成に努めます。

○子ども情報誌の発行等により、子どもが地域の育成事業等に参加することを促します。

#### ●青年の社会参加の支援

○青年の積極的な社会参加を促し、社会活動を行いやすい条件づくりをするとともに、青年の主体性・創造性を生かした事業を推進します。

○青年の地域での活動を支援していきます。

### ②小中学校の教育環境整備

#### ●小中一貫教育の推進

○小中学校間の教職員の連携を深め、学校間の指導の一貫性を高める取組を進めます。

○小中一貫した教育カリキュラムや小中一貫校実現に向けた研究を行い、系統的・継続的な指導に向けた取組を進めます。

#### ●施設整備の充実

○学校施設の耐震化を促進するとともに、老朽化した学校施設の改善・改築を環境に配慮しながら計画的に行い、安全・安心に学べる環境づくりを進めます。

○給食施設については、将来にわたり安定的な給食の提供を図るとともに、食育を推進するために効果的な調理施設の在り方と配置を総合的に検討し、給食施設の改修、更新を計画的に進めます。

○教員住宅については、民間住宅の活用なども含め、地域の実情に応じて計画的な再編整備を進めます。

#### ●学校の適正規模・適正配置の検討

○中長期的な展望のもとに、地域の実情や特性を踏まえながら、通学区域の見直しや学校の再編を検討します。



改築した傍陽小学校 管理普通教室棟



全面改築した塩田中学校



耐震改修した神川小学校 管理特別教室棟

### ③自発的に学ぶ意欲の育成

#### ●教育内容の充実

- 各学校の創意工夫と地域の自然、伝統・文化、人材を活用して特色ある学校づくりの推進と特色ある教育を実践します。
- 創造性を豊かにする個性尊重の教育、国際的な視野に立った異文化理解を深める教育、高度情報化社会に対応した情報教育など、社会変化に対応した幅広い教育を展開します。
- 教科活動や学校給食を通じ、食に対する正しい知識と選択する力の習得が図れるよう、活動の中心となる栄養教諭を配置して、家庭・地域との連携のもと食の教育を充実します。
- 小中学校の情報教育環境の整備を進めるとともに、教職員の情報機器の活用能力を向上させるための研修会等の開催や、マルチメディア情報センターと連携した学校への教材の配信など、学校における情報教育の推進を図ります。また、インターネット上の有害情報から子どもたちを守るため、インターネットや携帯電話のルールとマナー等の情報モラルや、子ども自身が情報機器を適切に活用できる能力を身につけるための支援を行います。



マルチメディア情報センターの子供向けセミナー

### ●学力の向上

○少人数学級や少人数指導により、基礎学力の定着を図ります。

○学力検査などを通じ、学力の実態を正確に把握し、教職員の指導力向上と教育課程の改善に生かします。

○情報機器を効果的に活用し、子どもの興味・関心を高め、わかる楽しい授業の実現を図ります。

### ●きめ細かな支援の充実

○いじめ・不登校などの問題に悩む児童生徒への支援として、教育相談所や心の教室相談員など相談体制のより一層の整備・充実を図ります。

○特別支援教育の対象となる子どもに対して、障害の程度や発達段階・成長に合わせ、個別の指導計画を作成するなど個に応じた支援を行います。

### ●学校における外国籍児童生徒への支援

○市内小中学校では、日本語や日本の習慣について理解が不十分な外国籍の児童生徒に対して、集中日本語教室や日本語教育指導員事業の充実により、日本の生活習慣や基本的な日本語の指導を行い、スムーズな学校生活への適応と学習言語を身につけるための支援をしていきます。

○外国籍児童生徒の保護者に対しては、学校から家庭への連絡文書の翻訳や就学説明時などの通訳の支援を行うほか、多文化共生のまちづくりを進める観点から、学校制度や地域との繋がりなどについて理解を深めるための支援を併せて行います。



外国籍児童生徒支援教室「虹のかけはし」

### ●学校給食の充実

○成長期にある児童生徒の健全な成長を支えるため、給食内容の充実に努めるとともに、地場産物の活用など学校給食を教材とした食育を推進します。

## ④家庭や地域での子どもたちの育成

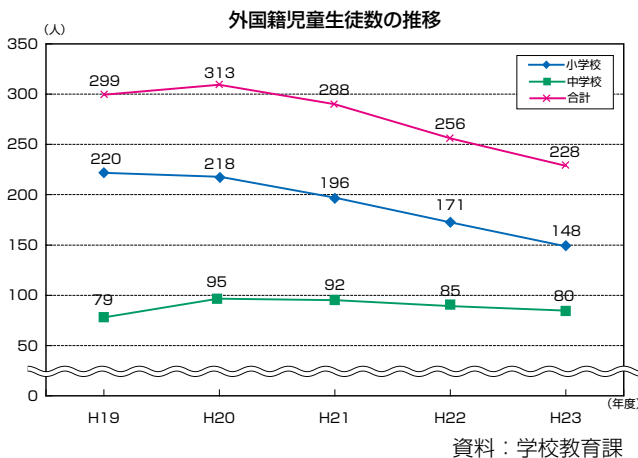
### ●安全・安心な学校、地域づくり

○学校、地域住民、企業、関係機関の連携を推進し、子どもたちが安心して学び、健やかに育つ環境づくりを目指します。

### ●家庭の教育力の向上

○家庭教育は全ての教育の出発点であり、人間形成の基礎を培う重要な役割を担っています。社会情勢の変化に配慮し、人とのふれあいや思いやりの心を大切にした家庭教育支援を推進します。

○子育てサポーターの活用、子育てひろば事業の充実等子育て不安を解消し、地域連携した子育て支援を推進します。





●放課後等の児童の健全育成

○公民館等の社会教育施設では、学校外での子どもたちが有意義に過ごせるよう環境整備を進めるとともに、主催事業や地域行事等への参加を促します。

○児童館や放課後児童クラブでは、地域ボランティアの協力を得ながら、伝統行事や季節行事、読み聞かせ等の各館独自の事業も実施し、児童の健全育成に取り組むとともに、子どもたちが安全で元気に過ごすことができ、保護者にとっても利用しやすい施設の運営や整備を目指します。

○放課後児童クラブについては、老朽化した施設や狭い施設の整備を実施します。

●地域の教育力の活用

○地域の教育力を学校に反映できるシステムとして、学校支援地域本部事業<sup>1</sup>や学校を支援するボランティアの活用など、条件の整った学校から取り組みます。

○コミュニティ・スクール<sup>2</sup>（学校運営協議会制度）や学校評議員制度<sup>3</sup>などを活用して、地域住民の意見を学校運営に生かします。

○非行等の問題行動に対して、学校、家庭、関係機関や地域社会が連携を図りながらサポートする「地域支援システム」を充実し、児童生徒が安心して明るい学校生活を送れるように努めます。

●心の教育推進プランの推進

○大人自身がいい「生き方」をし、子どもたちにとって「最も身近な手本」となるように、子どもたちと一緒に①読書運動②汗を流そう運動③あいさつ運動④スイッチ・オフ運動⑤子どもの人権を守る運動の五つの運動を家庭・地域社会・学校等と協力しながら推進します。

●青少年育成関係活動の充実

○地域の全ての大人に青少年育成に対する理解と関心を持ってもらうために、各自治会単位、ブロック単位、公民館地区単位での連絡会・推進会議等を組織し、学校との連携を深め、地域全体で青少年育成体制づくりを進めるとともに、それぞれの地域の特色を生かした市民会議や地区集会等の充実と活性化を図ります。



学校地域支援本部事業による活動風景



里山での自然遊び教室

1 学校支援地域本部事業

学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域ぐるみで学校支援を行うための仕組みとして国が進めた事業。上田市では、平成20年度から塩田地域において塩田中学校をモデルとして取組を始めた。

2 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

保護者や地域住民が、合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現を目指すという、地域に開かれ地域に支えられる学校づくりの仕組み

3 学校評議員制度

学校が保護者や地域の方々の意見を幅広く聞くための制度。これにより、地域や社会に開かれた学校づくりをいっそう推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができる。

●青少年を育む環境づくりの推進

○少年補導活動や環境浄化活動などの事業を推進する少年育成センターの活動の充実に努め、青少年育成関係機関、団体及び地域住民等と連携し、青少年の育成対策、環境浄化運動及び非行防止活動を推進するとともに、インターネット上の有害情報から子どもたちを守り、子ども自身が情報機器を適切に利用できるように子どもやその保護者に対する広報啓発活動を推進します。

●青少年教育諸活動の推進

○青少年に関する各種調査、研究等の結果を提供するとともに、家庭教育や地域の学習活動の支援に努めます。

## 第2章 生涯学習と人材開発を促進するために

### 第1節 高度化・多様化した学習機会を創出する

#### ■現状と課題

- 1 市民の学習ニーズに応えるだけでなく、市民が自発的に地域づくりの活動に取り組む素地となる社会教育の推進が必要です。
- 2 「生涯学習基本構想<sup>1</sup>」に基づいた計画の管理や評価を行いながら事業を推進していくことが必要です。
- 3 情報化、高齢化などが進む社会状況に対応した社会教育施設の施設整備や学習活動の拠点としての利用促進が必要です。
- 4 「図書館基本構想<sup>2</sup>」に基づいた図書館の整備、運営を行うことが必要です。
- 5 大学や研究機関などの高等教育機関が行う「地域貢献活動」の広報や周知に努めるとともに、これらの機関との連携の一層の強化が必要です。



真田図書館



丸子図書館（イメージ図）

#### ■基本的な考え方

- 1 地域と生活に根ざした学習課題の解決に向け、学習情報・機会の提供及び生涯学習ネットワークを整備するとともに、社会教育施設の整備や充実を図り、市民の学習活動を促進します。

#### ■施策体系

節	施策
高度化・多様化した学習機会を創出する	①自発的な生涯学習活動の促進 ②質の高い生涯学習ニーズに応えるプログラムの提供

1 生涯学習基本構想（平成20年3月策定）  
生涯学習における施策を計画的に進めていくべき指針としてまとめたもの  
2 図書館基本構想（平成19年9月策定）  
市全体の中で図書館の在り方や役割分担、施設の配置、新しい時代の図書館運営をまとめたもの

## ■施策の内容

### ①自発的な生涯学習活動の促進

- まちづくりの実践に結びつく社会教育の推進
  - 現代的課題や地域課題解決に向け、市民が主体となった自発的な取組が促進されるよう、現状の把握と解決すべき問題点を明らかにするための講座、学級等を公民館を中心として開催します。
- 地域の特色を生かした学習活動の推進
  - これまで各地域で行われてきた特色ある学習・事業も踏まえながら、市民が各地域を学ぶための学習機会・情報提供に努め理解を深めることにより、地域間交流を図るとともに共通した課題については専門家の意見を聞く機会も設け、各種団体との連携も図りながら市全体で課題解決に向けた取組を行います。
- 豊かな生涯学習社会の実現
  - 広範な範囲で活動する生涯学習団体の育成や連携に努め、少子高齢社会の到来のなかで、自ら学ぶ生涯学習社会の実現を図ります。



地域の学習活動

### ●社会教育施設の整備の促進

- 老朽化が進み移転新築の要望などがある公民館等の社会教育施設について、高度化・多様化する市民の学習ニーズに応えるため、職員体制も含め市全体の配置・整備計画に基づき整備を進めます。



城南公民館（イメージ図）

### ●図書館の整備

- 市民サービスの向上に向けて、図書のＩＣタグ<sup>1</sup>化に取り組み、「図書館基本構想」に基づいた整備と運営を行います。



ICタグによる自動貸出機

1 ICタグ化

図書のデータが書き込まれた超小型のICチップを本に貼り、データを機械が読み取ることで、複数貸出の自動処理や図書の管理などの効率化が図られる。

## ②質の高い生涯学習ニーズに応える プログラムの提供

- 高度化する学習活動への支援
  - 多様化・専門化する市民の学習ニーズに応えるため、大学や研究機関による公開講座や出張講座などの市民への周知など、地域内の高等教育機関と連携した取組を進めます。
  
- 高等教育機関等とのネットワークの整備
  - 高等教育機関の地域連携部署との連携などにより、高等教育機関、社会教育施設等が持つ情報をはじめとする資源の有効活用を図るため、それぞれの資源の共有化を図るネットワークの整備について研究します。
  
- 市民の学習ニーズに対応する学習情報の提供
  - 教育委員会のほか、市長部局、大学などで実施されている学習情報の一元化と共有化を図り、市民の学習ニーズに応じていきます。

## 第2節 専門的な能力をまちづくりの発展に生かす

### ■現状と課題

- |  |   |
|--|---|
| <p>1 高齢社会を迎え、知識や経験を持つ人材の発掘や活用を一層進める必要があります。</p>                          | <p>基準を定め、登録者のデータを共有化していくことが必要です。</p>                        |
| <p>2 独自に指導者リスト、人材バンクなどを活用している公民館、地域教育事務所もありますが、市全体で活用していけるよう、運用方法と登録</p> | <p>3 まちづくり活動を行う団体の指導者の育成に努めるとともに、各種団体の交流と連携を進める必要があります。</p> |

### ■基本的な考え方

- 1 個人の知識や能力、各種団体の活動を活用したまちづくりに取り組みます。

### ■施策体系

節	施 策
専門的な能力をまちづくりの発展に生かす	①専門的な能力を持つ人材の発掘と活用
	②まちづくりの指導者養成と団体の連携促進

### ■施策の内容

#### ①専門的な能力を持つ人材の発掘と活用

- 人材の発掘
  - 地域の人々が持つ知識や経験を生かせる場所づくりなど、能力を発揮しやすい環境づくりを進め、まちづくりの基礎となる人材の発掘に努めます。
- 人材の活用
  - 専門的な知識や技能を持ち、地域社会での活用を希望する人々の情報を収集し、提供できるよう、人材情報の一元化と共有化を進めます。

#### ②まちづくりの指導者養成と 団体の連携促進

- 人材の養成
  - 各種学習活動により、まちづくりに向けた活動を自発的に行う団体の指導者となりうる人材の養成に努めます。

#### ●各種団体等と連携した協働によるまちづくりの推進

- まちづくりの活動に住民が主体的に取り組むため、各地域で活動を行っている各種団体が互いの活動を知り、連携した活動が行えるよう、各種学習活動への参加促進、情報提供に努めます。



地域づくりコーディネーター養成講座

## 第3節 地域スポーツを活発にする

### ■現状と課題

- 1 市民が年齢や性別、障害の有無にかかわらず気軽に体を動かす機会が持てるよう、各種スポーツ大会及びスポーツ教室などを開催していますが、ライフスタイルの変化、健康への関心の高まりとともに、市民ニーズに対応した、社会全体でのより多様な取組が求められています。
- 2 地域でのスポーツ活動の推進のため、小中学校の体育施設を利用した学校開放事業などを進めています。更に、生涯にわたって、いつでも、どこでも、誰でもが気軽にスポーツのできる環境の整備が求められています。
- 3 必要に応じて体育施設の整備を進めてきていますが、多様なスポーツ・レクリエーションや競技スポーツの振興のため、スポーツ施設の整備を計画的に進める必要があります。



染屋台多目的グラウンド

### ■基本的な考え方

- 1 これまで各地域に整備したスポーツ施設を有効活用するとともに、気軽にスポーツやレクリエーションのできる環境の整備を進めることにより、体力向上や健康づくりの機会の拡大や、各種競技スポーツの強化に取り組みます。
- 2 一年を通じて全国各地の各種スポーツ団体が合宿に訪れる地域特性を生かし、スポーツ団体等との交流を深めます。

### ■施策体系

節	施策
地域スポーツを活発にする	①スポーツ活動への参加促進及び活動拠点づくり
	②各種競技スポーツの強化
	③各種スポーツ団体等の誘致及び交流の促進

## ■施策の内容

### ①スポーツ活動への参加促進及び活動拠点づくり

- 「スポーツ振興計画」に基づいた施策の推進
  - 「スポーツ振興計画」に基づき、地域、学校、競技スポーツ等の推進及びスポーツ環境の整備を推進し、生涯スポーツ社会の実現を目指します。
- 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
  - いつでも、どこでも、誰でもが気軽に参加できる、総合型地域スポーツクラブ<sup>2</sup>の育成を進めるとともに、活動内容等を広く市民に知ってもらうための啓発活動や、クラブマネージャー等の育成、情報提供、クラブ間の連携を進めるなどの支援を行います。
- 地域におけるスポーツの場の整備
  - 学校体育施設の開放等を進めるとともに、日常生活の身近な場所に地域の実状に応じたスポーツ施設の充実と効率的な活用を図ります。
- 参加機会の拡大
  - スポーツ団体等と連携し、各種スポーツ大会やスポーツ教室を開催し、生涯スポーツへの参加機会の拡大に努めます。
  - 公民館と連携を図りながら、地域住民を対象としたスポーツ教室等を開催し、地域スポーツ活動を推進します。



ともしびの里駅伝大会

- 子どもたちにスポーツやレクリエーションのできる場を提供することにより、一人でも多くの子どもたちに、楽しさや喜びを知ってもらうことを目的に運営されているスポーツ少年団活動等への支援を行います。

### ②各種競技スポーツの強化

- スポーツ文化の拠点となる競技スポーツ施設の整備
  - 既存施設の見直しを図るとともに、公式戦が誘致でき、見るスポーツ文化に対応できるスポーツ施設の整備など、市民ニーズに応じたスポーツ振興と施設整備を推進します。
- スポーツ団体との連携強化
  - スポーツ団体等との連携を深め、「市民みなスポーツ」の推進を図るとともに、競技力の向上を図ります。
- 指導体制の充実
  - スポーツ指導者の育成、資質の向上を目的に、研修会等を開催し、スポーツ指導体制の充実を進めます。

### ③各種スポーツ団体等の誘致及び交流の促進

- 菅平高原の高地トレーニングに適した環境や施設を活用したスポーツ合宿など、地域の特性を生かした誘致を進めるとともに、スポーツによる市民及び各団体の交流の促進を図ります。



ラグビー合宿のメッカ菅平

1 スポーツ振興計画（平成23年3月策定）

スポーツ振興法（現スポーツ基本法）に基づき、都道府県及び市町村が、それぞれの地域の実情に即して定めることとされている、スポーツの振興に関する計画

2 総合型地域スポーツクラブ

地域住民が主体的に運営するスポーツクラブで、複数の種目が用意されており、地域の誰もが、年齢、興味・関心、技術・技能レベルなどに応じて参加できる。